

令和4年度

鹿児島県レクリエーション協会 活動方針

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策の影響を受けた中でのスタートとなります。

令和2年以降は、ウィズコロナ時代での共生レク社会といえます。

コロナと共に生きる時代となり、デジタル化が進む中でフィジカルディスタンス（肉体的距離）を広く取り、メンタルヘルスディスタンス（心的距離）を密に進めるレク的コミュニケーションが重要な時代になったといえます。

コロナ禍での新しい生活様式が求められる中であっても、「日常的にスポーツ・レクリエーションに親しみ楽しむことで、人々の心身の健康の保持増進をはじめ、青少年の体力向上、人と人、地域間交流の促進、地域社会の再生等に寄与しよう」という日本レクリエーション協会の呼びかけに応え、県レクリエーション協会も公認指導者の力を結集し、加盟団体・地域団体とともにレクリエーション運動の輪を広げる努力をしてまいります。

多くの活動が自粛自主規制される中、県民へいかにレクリエーションの「喜び」を届けられるか、今私たちの出番私たちへのニーズは何なのか検討いたします。

新規約のもと各委員会活動の充実を図りこの時代にあった県民のニーズに沿った活動を目指します

そのため以下の活動を提案いたします。

- 1 地域レクリエーション協会訪問事業
- 2 種目団体との交流促進事業
- 3 有資格者の講師状況の把握、講師バンクの充実及び積極的活用
- 4 学校部活動支援事業（新規）
- 5 第38回県民レクリエーション祭(奄美大会)の開催